

「価値を認めあう社会へ」省庁へ要請行動

せ こうひろしげ 世耕弘成 経産省大臣へ直接申し入れ

「サプライチェーン全体で適正な取引に」と回答得る



4月23日に安河内賢弘JAM会長が、経済産業省で世耕弘成大臣に「価値を認めあう社会へ」の実現に向け直接要請した。右から古賀之士参議院議員、森本真治参議院議員、世耕経産省大臣、安河内JAM会長、中井寛哉JAM書記長、榛葉賀津也参議院議員

JAMは「価値を認めあう社会へ」の実現に向けた要請行動を4月23日に経済産業省、24日に公正取引委員会、厚生労働省、消費者庁、国土交通省に対して行った。

23日の要請には、安河内賢弘会長、中井寛哉書記長、須崎敏浩総合政策グループ長をはじめ、JAMものづくり国会議員懇談会の森本真治参議院議員（広島県選挙区）、榛葉賀津也参議院議員（静岡県選挙区）古賀^{ゆきひと}之士参議院議員（福岡県選挙区）、も同席した。

経済産業省では、世耕弘成経済産業大臣が直接対応（写真）した。大臣からは、「中小企業が潤わないと産業基盤が良くなる。サプライチェーン全体で適正な取引になるよう、情報収

集していく。しっかり受け止めて引き続き取り組み」などの回答を得た。

公正取引委員会では、違反に対しては厳正に取り締まるなど取り組みの強化と、引き続き調査も継続するとの回答があった。



省庁等と調整いただいた森本議員に感謝いたします。



JAMの要請内容を世耕経産相大臣（手前左2人目）に説明する中井JAM書記長（右2人目）